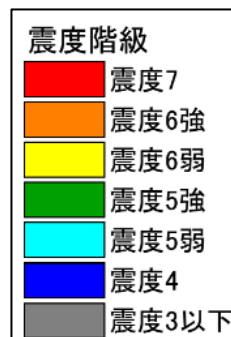


1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<震度別面積割合>
(参考) 総面積 = 6.0km²

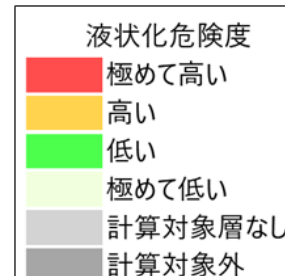
震度階級	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	0.0	0%	0.0	0%
6強	4.4	74%	0.0	0%
6弱	1.6	26%	6.0	100%
5強	0.0	0%	0.0	0%
5弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<液状化危険度別面積割合>
(参考) 総面積 = 6.0km²

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
極めて高い	2.3	38%	2.1	35%
高い	0.2	3%	0.2	3%
低い	0.1	2%	0.2	3%
極めて低い	0.2	3%	0.3	5%
計算対象層なし 計算対象外	3.3	54%	3.3	54%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

1. ハザード評価

(3) 沿岸最大津波高

L2	L1
—	—

(4) 沿岸津波到達時間

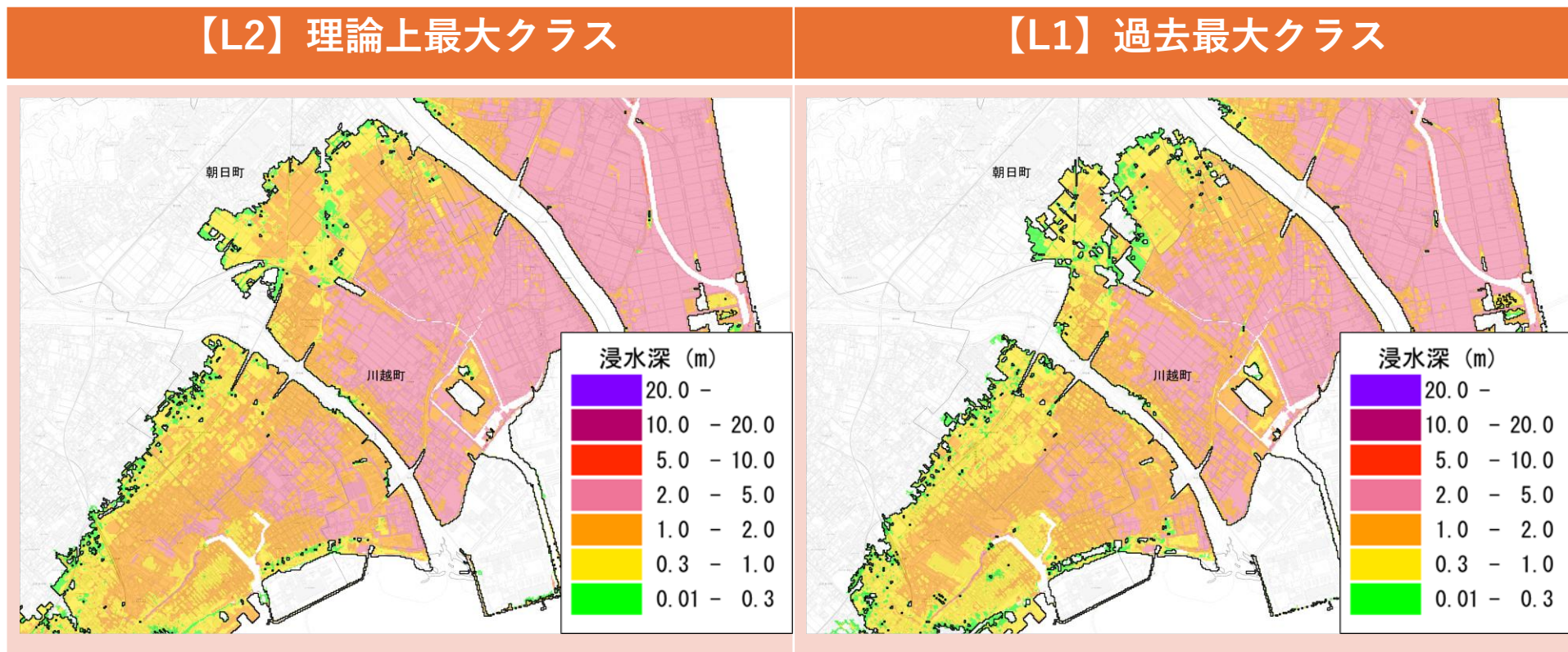
L2	L1
—	—

※沿岸で1mの水位変動が発生するまでの最短の時間

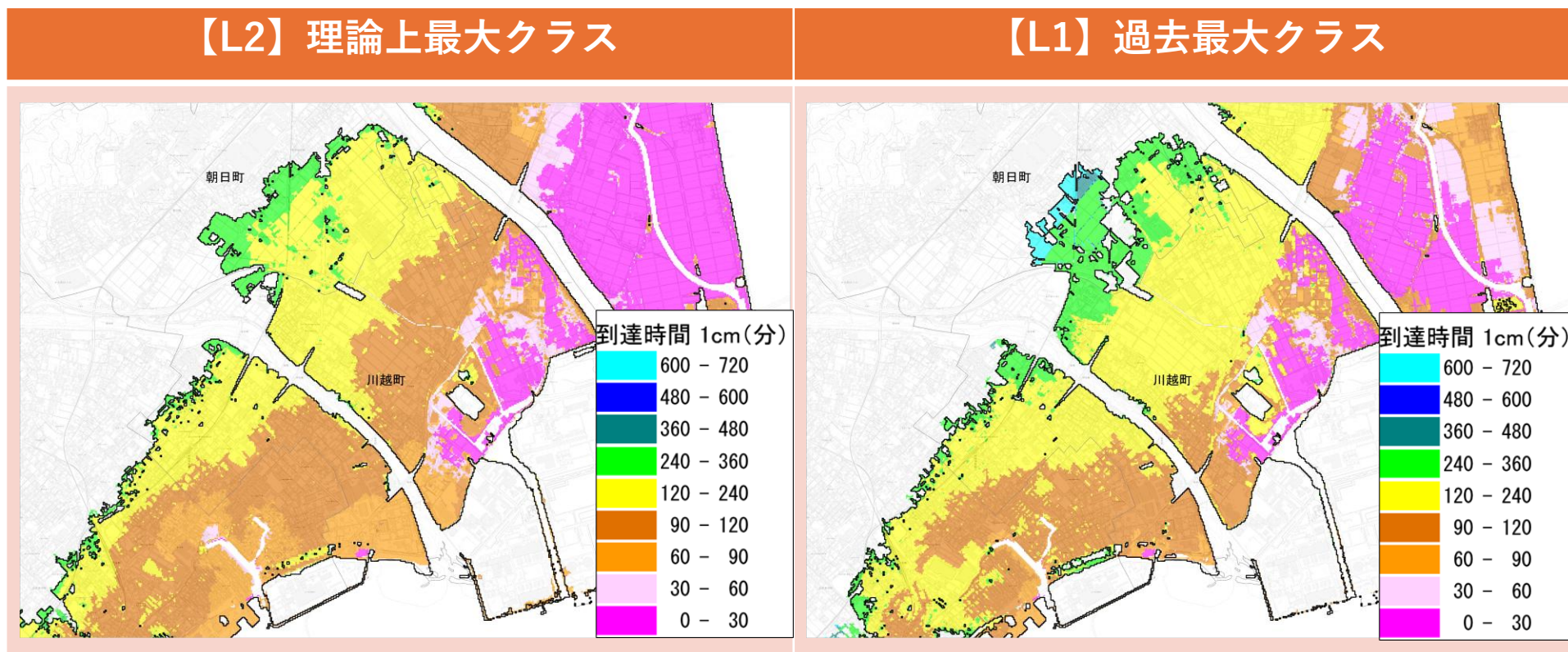
(5) 津波浸水面積

L2	L1
136ha	98ha

(6) 津波浸水深



(7) 津波浸水深到達時間 ※陸上で1cmの浸水が発生するまでの時間



2. リスク評価

(1) 人的被害

※L2の死者数は津波ケース②の推計結果
 ※季節・時間帯：冬・深夜
 ※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約40	-
うち建物倒壊等	約20	-
うち津波	約10	-
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	-	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約50	約10
軽傷者数（人）	約200	約60
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約100	約20
津波被害による 要救助者数（人）	約10	-
津波被害による 要捜索者数（人）	約10	-

(2) 建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース⑥の推計結果
 ※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約700	約100
うち揺れ	約500	約60
うち液状化	約30	約30
うち津波	約20	約10
うち急傾斜地	-	-
うち火災	約100	-
半壊棟数（棟）	約1,100	約600
うち揺れ	約800	約300
うち液状化	約100	約100
うち津波	約200	約100
うち急傾斜地	-	-
ブロック塀等の 転倒数（件）	約100	約30
自動販売機の 転倒数（件）	-	-
屋外落下物の 発生数（件）	約70	-

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	-	-
残火災件数（件）	-	-
津波火災発生件数（件）	-	-

概観（理論上最大クラス） 【ハザード評価】

広い範囲で震度6強となり、平地部では液状化が広く発生します。

【リスク評価】

揺れによる建物の全壊や火災による焼失被害が発生し、古い家屋を中心に建物の倒壊等による死傷者や自力脱出困難者が発生します。

※「-」：わずか（5未満）
 ※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。